

中央市の給与・定員管理等について

1 総括

(1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (平成24年度末)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) 23年度の人件費率
平成24年度	31,264	11,706,579千円	197,495千円	1,832,680千円	15.66%	14.99%

(2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 (A)	給与費				一人当たり 給与費 (B/A)	(参考)類似団体平均 一人当たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)		
平成24年度	213人	813,556千円	91,717千円	289,151千円	1,194,424千円	5,504千円	5,703千円

- (注) 1 職員手当には退職手当を含まない。
 2 職員数は、平成24年4月1日現在の人数である。
 3 給与費については、任期付短時間勤務職員（再任用職員（短時間勤務））の給与費が含まれており、職員数にはんでいない。

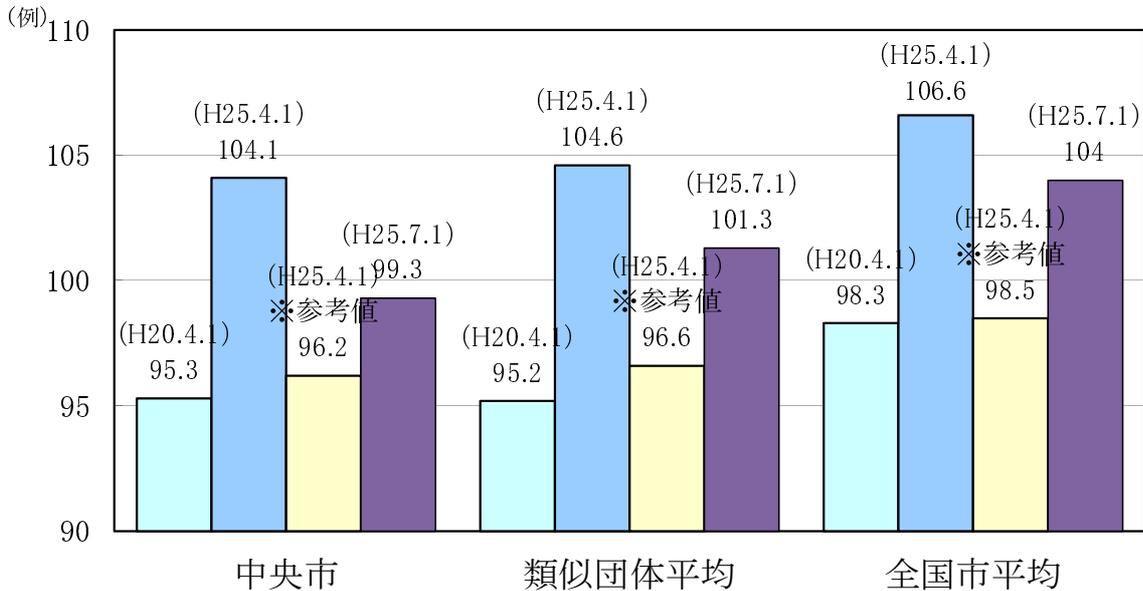
(3) 特記事項

(給与減額の状況)

国の要請等を踏まえた減額措置の取組	減額実施期間又は減額を実施していない場合はその理由
減額措置実施	減額実施期間 平成25年7月1日～平成26年3月31日
抑制済又は減額措置の内容	
(給料) 減額率	1・2級 ▲1.5% 3～5級 ▲4.5% 6・7級 ▲6.7%
(手当) 管理職手当:	一律 ▲10% 時間外手当: 基礎となる給料減額の反映
◎ラスパイレス指数 (H25.4.1)	104.1 (参考値) 96.2 (減額時点) 99.3

(その他)

(4) ラスパイレス指数の状況



- (注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数（構成）：学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表（一）適用職員の俸給月額を100として計算した指数。
 2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。
 3 「参考値」は国家公務員の時限的な（2年間）給与改定・臨時特例法による措置が無いとした場合の値である。

2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

(1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成25年4月1日現在）

①一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
中央市	43.6 歳	325,982 円	369,228 円	348,928 円
山梨県	43.2 歳	339,136 円	417,943 円	376,656 円
国	43.1 歳	307,220 円	-	376,257 円
類似団体	42.8 歳	322,051 円	372,860 円	347,747 円

②技能労務職

区分	公務員					民間			参考 A/B
	平均年齢	職員数	平均給料月額	平均給与月額 (A)	平均給与月額 (国比較ベース)	対応する民間 の類似職種	平均年齢	平均給与月額 (B)	
中央市	52.1 歳	4.0 人	283,600 円	291,550 円	283,600 円	-	-	-	-
うち用務員	- 歳	- 人	- 円	- 円	- 円	-	-	- 円	-
うち学校給食員	57.0 歳	1.0 人	302,300 円	313,900 円	302,300 円	調理師	44.3 歳	270,600 円	1.16
その他	50.4 歳	3.0 人	277,367 円	284,133 円	277,367 円	-	- 歳	- 円	-
山梨県	49.8 歳	142.0 人	345,623 円	396,779 円	371,367 円	-	-	-	-
国	49.9 歳	3,272.0 人	272,119 円	-	309,534 円	-	-	-	-
類似団体	49.3 歳	23.0 人	309,919 円	334,443 円	322,272 円	-	-	-	-

区 分	参 考		
	年収ベース(試算値)の比較		
	公務員(C)	民間(D)	C/D
中央市	—	—	—
うち学校給食員	4,873,922 円	3,646,600 円	1.34

※民間データは、賃金構造基本統計調査において公表されているデータを使用している。(平成22～24年の3ヶ年平均)

※技能労務職の職種と民間職種等の比較にあたり、年齢、業務内容、雇用形態等の点において完全に一致しているものではない。

※年収ベースの「公務員(C)」及び「民間(D)」のデータは、それぞれ平均給与月額を1.2倍したものに、公務員においては前年度に支給された期末・勤勉手当、民間においては前年に支給された年間賞与額の額を加えた試算値である。

③教育職 (該当 なし)

④看護・保健職

区 分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国比較ベース)
中央市	39.5 歳	308,900 円	325,045 円	314,400 円
山梨県	42.6 歳	353,201 円	408,438 円	371,131 円
国	46.0 歳	299,098 円	—	327,740 円
類似団体	40.4 歳	299,395 円	349,885 円	312,287 円

(注) 1 「平均給料月額」とは、平成25年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。

また、「平均給与月額(国比較ベース)」は、比較のため、国家公務員と同じベース(=時間外勤務手当等を除いたもの)で算出している。

3 国家公務員欄における「平均給料月額」及び「平均給与月額(国比較ベース)」の括弧書きは、給与改定・臨時特例法による給与減額措置がないとした場合の値(減額前)である。

(2) 職員の初任給の状況（平成25年4月1日現在）

区 分		中央市	山梨県	国
一般行政職	大学卒	172,200 円	178,800 円	163,987(172,200) 円
	高校卒	140,100 円	144,500 円	133,418(140,100) 円
技能労務職	高校卒	137,200 円	146,700 円	円
	中学卒	125,400 円	129,200 円	円
看護・保健職	大学卒	203,900 円	206,900 円	円
	高校卒	- 円	- 円	円

(注) 国家公務員欄における括弧書きは、給与改定特例法による措置がないとした場合の値（減額前）である。

(3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額状況（平成25年4月1日現在）

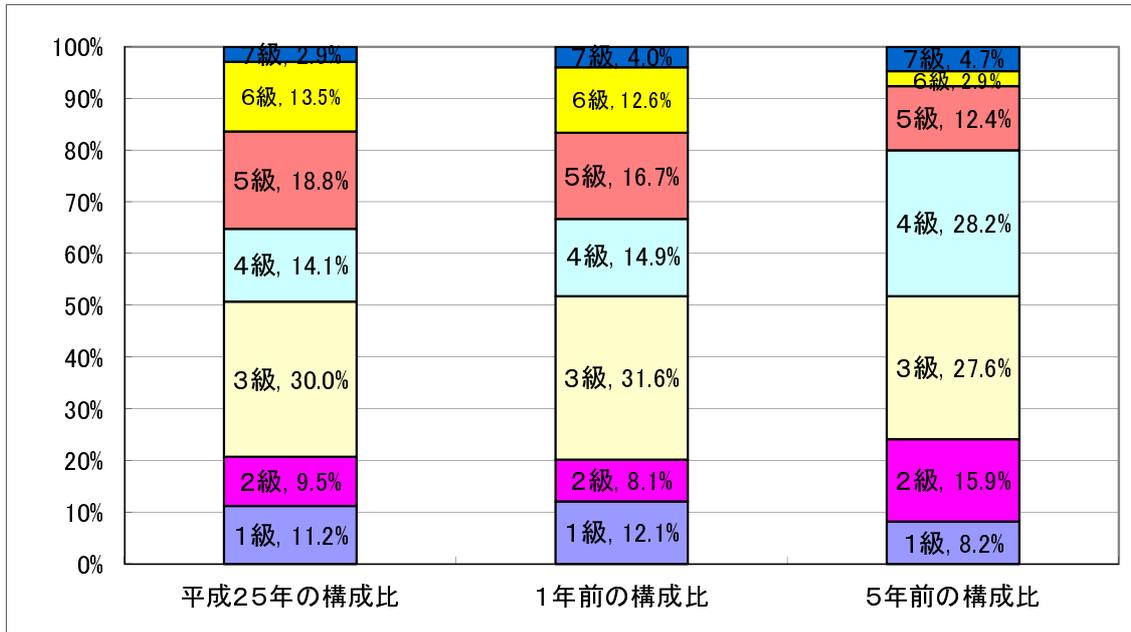
区 分		経験年数10年	経験年数20年	経験年数25年	経験年数30年
一般行政職	大学卒	259,100 円	351,820 円	392,863 円	415,900 円
	高校卒	258,200 円	281,000 円	361,066 円	373,550 円
技能労務職	高校卒	- 円	- 円	294,700 円	302,300 円
	中学卒	- 円	- 円	- 円	- 円
教育職	大学卒	- 円	- 円	- 円	- 円
	高校卒	- 円	- 円	- 円	- 円
看護・保健職	大学卒	260,600 円	- 円	- 円	- 円
	短大卒	- 円	- 円	- 円	- 円

3 一般行政職の級別職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況（平成25年4月1日現在）

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
7級	部長	5人	2.9%	366,200	456,600
6級	課長・会計管理者・室長・議会事務局長	23人	13.5%	320,600	423,000
5級	監・主幹	32人	18.8%	289,200	401,000
4級	副主幹	24人	14.1%	261,900	388,600
3級	主査	51人	30.0%	222,900	355,000
2級	主任	16人	9.5%	185,800	308,100
1級	主事	19人	11.2%	135,600	243,700

- (注) 1 中央市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
 2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 昇給への勤務成績の反映状況

現在、昇給へ勤務成績の反映をさせるべく人事評価制度の試行中。

4 職員の手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当

中央市	山梨県	国
1人当たり平均支給額(平成24年度) 1,339 千円	1人当たり平均支給額(平成24年度) 1,495 千円	—
(平成24年度支給割合) 期末手当 2.6 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(平成24年度支給割合) 期末手当 2.6 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分	(平成24年度支給割合) 期末手当 2.6 月分 勤勉手当 1.35 月分 (1.45)月分 (0.65)月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~20% ・管理職加算 10%~25%

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

【参考】勤勉手当への勤務実績の反映状況（一般行政職）

現在、勤勉手当へ勤務実績の反映をさせるべく人事評価制度の試行中。

(2) 退職手当（平成25年4月1日現在）

中央市			国		
(支給率)	自己都合	勸奨・定年	(支給率)	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分	勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	勤続25年	32.83 月分	38.955 月分
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	勤続35年	46.55 月分	55.86 月分
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	最高限度額	55.86 月分	55.86 月分
その他の加算措置			その他の加算措置		
(退職時特別昇給)	なし			定年前早期退職特例措置	
1人当たり平均支給額	21,840 千円	22,201 千円		(2%~20%加算)	

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、平成24年度に退職した職員に支給された平均額である。

(3) 地域手当 (支給なし)

(4) 特殊勤務手当 (支給なし)

(5) 時間外勤務手当

支給実績(平成24年度決算)	33,222 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成24年度決算)	156 千円
支給実績(平成23年度決算)	43,990 千円
職員1人当たり平均支給年額(平成23年度決算)	247 千円

(6) その他の手当 (平成25年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (平成24年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (平成24年度決算)
扶養手当	・配偶者: 13,000円 ・配偶者以外の扶養親族: 6,500円 ・15歳に達する日後の最初の4月1日～22歳に達する日以後の最初の3月31日まで5,000円加算	同じ	—	18,292 千円	207,864 円
住居手当	①自宅(持ち家): 支給なし ②借家: 12,000円以上の家賃を支払っている場合、27,000円を限度に支給	同じ	—	7,506 千円	300,240 円
通勤手当	・自動車等の使用距離が片道2キロ以上5キロ未満である職員 2,000円 ・5キロ以上10キロ未満である職員 4,100円 ・10キロ以上15キロ未満である職員 6,500円 ・15キロ以上20キロ未満である職員 8,900円 ・20キロ以上25キロ未満である職員11,300円 ・25キロ以上30キロ未満である職員13,700円 ・30キロ以上35キロ未満である職員16,100円 ・35キロ以上40キロ未満である職員18,500円 ・40キロ以上45キロ未満である職員20,900円 ・45キロ以上50キロ未満である職員21,800円 ・50キロ以上55キロ未満である職員22,700円 ・55キロ以上60キロ未満である職員23,600円 ・60キロ以上である職員24,500円 ・交通機関利用者 定期券等の金額 最高限度額 55,000円	同じ	—	6,508 千円	40,675 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員のうちその職務の特殊性に基づき定められた職にある者に支給 役職に応じ定額(32,200円～66,000円)を支給	同じ	—	20,359 千円	565,528 円
休日勤務手当	祝日法による休日等及び年末年始の休日等に勤務した場合勤務時間一時間当たり給与額の100分の125から100分の150までの範囲内で支給(正規の勤務時間中に勤務することを)	同じ	—	2,747 千円	— 円
夜間勤務手当	午後10時から翌日午前5時までの間に勤務した場合に勤務時間1時間当たり給与額の100分の25支給	同じ	—	— 千円	— 円
宿日直手当	庁舎の宿日直1回につき4,200円	同じ	—	3,083 千円	17,718 円

5 特別職の報酬等の状況（平成24年4月1日現在）

区 分		給 料 月 額 等		
給 料 報 酬	市区町村長	780,000 円	(参考)類似団体における最高/最低額 989,000 円/ 259,000	
	副市町村長	(- 円) 610,000 円	816,000 円/ 483,000	
	議 長	(- 円) 330,000 円	545,000 円/ 230,000	
	副 議 長	(- 円) 300,000 円	474,000 円/ 200,000	
	議 員	(- 円) 290,000 円	450,000 円/ 180,000	
	(- 円)			
期 末 手 当	市区町村長	(平成24年度支給割合)		
	副市町村長	3.90 月分		
	収 入 役			
退 職 手 当	議 長	(平成24年度支給割合)		
	副 議 長	2.95 月分		
	議 員			
退 職 手 当		(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	市区町村長	給料月額×在職月数×0.42	1,572万円	任期満了毎
	副市町村長	給料月額×在職月数×0.25	732万円	任期満了毎

- (注) 1 給料及び報酬の()内は、減額措置を行う前の金額である。
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

6 職員数の状況

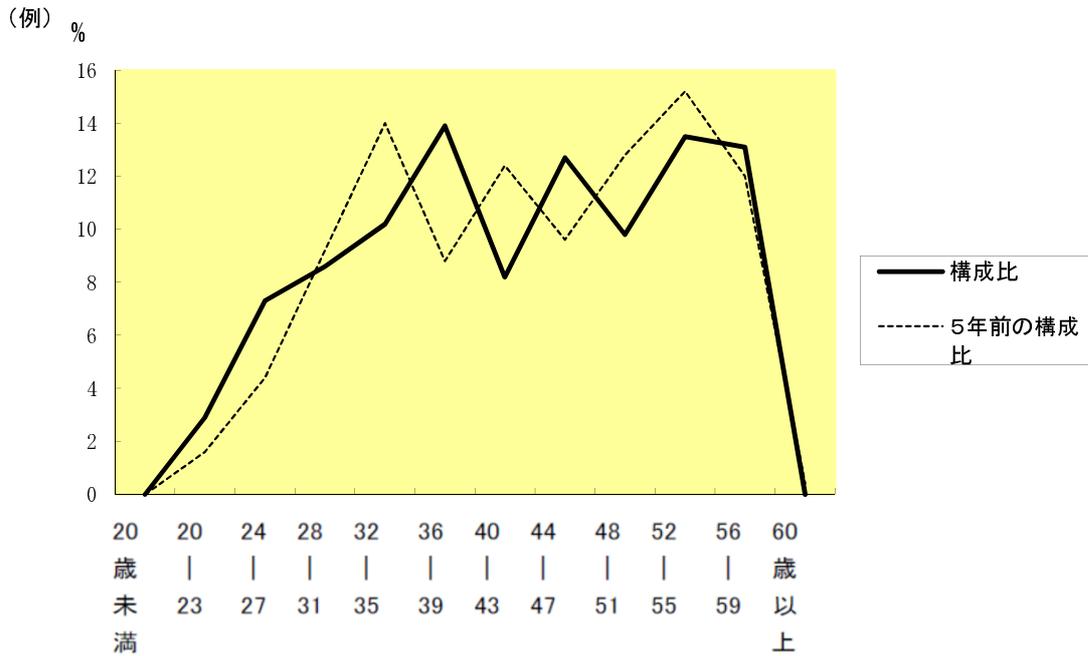
(1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

区 分		職 員 数		対前年 増減数	主 な 増 減 理 由
		平成25年	平成24年		
普 通 会 計 部 門	一般行政部門				
	正式任用	189	192	△ 3	機構組織上による配置異動
	計	189	192	△ 3	<参考> 人口1万人当たり職員数 60.45 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 71.57 人)
	教育部門	24	26	△ 2	退職による減・機構組織上による配置異動
	消防部門	0	0	0	-
	小 計	213	218	△ 5	<参考> 人口1万人当たり職員数 68.12 人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 94 人)
公 営 会 社 等 部 門	正式任用	31	31	0	機構組織上による配置異動
	小 計	31	31	0	
合 計		244 [264]	249 [264]	△ 5 [0]	<参考> 人口1万人当たり職員数 78.04 人

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。
 2 []内は、条例定数の合計である。

(2)年齢別職員構成の状況（平成25年4月1日現在）



区分	20歳未満	20歳～23歳	24歳～27歳	28歳～31歳	32歳～35歳	36歳～39歳	40歳～43歳	44歳～47歳	48歳～51歳	52歳～55歳	56歳～59歳	60歳以上	計
職員数	0人	7人	18人	21人	25人	34人	20人	31人	24人	33人	32人	0人	245人

(3)職員数の推移

部門別	年度	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	過去5年間の増減数 (率)
一般行政		186	188	189	191	192	189	3 (95.5%)
教育		33	32	31	30	26	25	-8 (76.9%)
消防		0	0	0	0	0	0	0 (0%)
普通会計計		219	220	220	221	218	214	-5 (92.5%)
公営企業等会計計		32	31	33	32	31	31	-1 (133.3%)
総合計		251	251	253	253	249	245	-6 (96.2%)

- (注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。
 2 合併した団体にあつては、合併前の年については合併前の旧団体の合計職員数。

7 公営企業職員の状況

水道事業

① 職員給与費の状況

ア 決算

区分	総費用 (A)	純損益 又は 実質収支	職員給与費 (B)	総費用に占める 職員給与費比率 (B/A)	(参考) 平成24年度の総費用に占 める職員給与費比率
平成24年度	262,339千円	△9,301千円	24,482千円	9.33%	10.79%

区分	職員数 (A)	給 与 費				一人当たり 給与費 (B/A)	(参考)市町村(政令指定都市を 除く)平均一人当たり給与費
		給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)		
平成24年度	4人	11,041千円	4,568千円	4,157千円	19,766千円	4,942千円	6,258千円

- (注) 1 職員手当には退職給与金を含まない。
2 職員数は、平成24年3月31日現在の人数である。

イ 特記事項 (なし)

② 職員の基本給、平均月収額及び平均年齢の状況 (平成25年4月1日現在)

区分	平均年齢	基本給	平均月収額
中央市	38.8 歳	249,771 円	411,792 円
団体平均	45.2 歳	353,532 円	520,694 円

(注) 平均月収額には、期末・勤勉手当等を含む。

③ 職員の手当の状況

ア 期末手当・勤勉手当

中央市公営企業職				中央市一般行政職			
1人当たり平均支給額(平成24年度)				1人当たり平均支給額(平成24年度)			
1,039 千円				1,339 千円			
(平成24年度支給割合)				(平成24年度支給割合)			
期末手当		勤勉手当		期末手当		勤勉手当	
2.6 月分		1.35 月分		2.6 月分		1.35 月分	
(1.45)月分		(0.65)月分		(1.45)月分		(0.65)月分	
(加算措置の状況)				(加算措置の状況)			
職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%				職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5%~15%			

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

イ 退職手当 (平成25年4月1日現在)

中央市公営企業職				中央市一般行政職			
(支給率)	自己都合	勸奨・定年		(支給率)	自己都合	勸奨・定年	
勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分		勤続20年	23.03 月分	28.7875 月分	
勤続25年	32.83 月分	38.955 月分		勤続25年	32.83 月分	38.955 月分	
勤続35年	46.55 月分	55.86 月分		勤続35年	46.55 月分	55.86 月分	
最高限度額	55.86 月分	55.86 月分		最高限度額	55.86 月分	55.86 月分	
その他の加算措置				その他の加算措置			
(退職時特別昇給 なし)				(退職時特別昇給 なし)			
1人当たり平均支給額 — 千円 — 千円				1人当たり平均支給額 21,840 千円 22,201 千円			

(注) 公営企業会計職・水道事業では平成24年度に退職手当の支給実績がないため未記入。

ウ 地域手当 (支給なし)

エ 特殊勤務手当（支給なし）

オ 時間外勤務手当

支給実績（平成24年度決算）	1,182 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成24年度決算）	296 千円
支給実績（平成23年度決算）	1,141 千円
職員1人当たり平均支給年額（平成23年度決算）	285 千円

（注）時間外勤務手当には、休日勤務手当を含む。

カ その他の手当（平成25年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	一般行政職の制度との異同	一般行政職の制度と異なる内容	支給実績 （平成24年度決算）	支給職員1人当たり 平均支給年額 （平成24年度決算）
扶養手当	・配偶者:13,000円 ・配偶者以外の扶養親族:6,500円 ・15歳に達する日後の最初の4月1日～22歳に達する日以後の最初の3月31日まで5,000円加算	同じ	—	822 千円	205,500 円
住居手当	①自宅(持ち家):支給なし ②借家:12,000円以上の家賃を支払っている場合、27,000円を限度に支給	同じ	—	0 千円	0 円
通勤手当	・自動車等の使用距離が片道2キロ以上の場合通勤距離に応じて支給 ・交通機関利用者 定期券等の金額 最高限度額 55,000円	同じ	—	146 千円	36,500 円
管理職手当	管理又は監督の地位にある職員のうちその職務の特殊性に基づき定められた職にある者に支給 役職に応じ定額を支給	同じ	—	— 千円	- 円
休日勤務手当	祝日法による休日等及び年末年始の休日等に勤務した場合勤務時間1時間当たり給与額の100分の135から100分の160までの範囲内で支給	同じ	—	— 千円	— 円
夜間勤務手当	午後10時から翌日午前5時までの間に勤務した場合に勤務時間1時間当たり給与額の100分の25支給	同じ	—	— 千円	— 円
宿直手当	庁舎の宿日直1回につき4,200円	同じ	—	55 千円	13,750 円